

97「勝負」の報告 県の重要施策の一つを「断捨離」。

報告の
で勝利
の
実績

マイME-BYOカルテの見直しを実現

公明党 鈴木ひでし

健康管理や未病改善を支援するためのスマホアプリ「マイME-BYOカルテ」について、これまで私は県議会で黒岩知事に対して見直しを提言し、それが実現しましたのでご報告します。

マイME-BYOカルテとは

このアプリは、知事が重要視するヘルスケア・ニューフロンティア政策の目玉の一つとして開発されました。平成27年度から提供され、今年度で10年目を迎えています。運用10年での課題は

私はこれまで、この取組について様々な提言をしてきましたが、開始から10年となるこの間に、無料で利用できる民間のヘルスケアアプリが数多く提供され、好みに応じて様々なものを選べるようになってきています。



健康をもっと身近に。
マイME-BYOカルテ

毎日のアプリ利用で
未病改善行動を習慣化

取組が始まった当時とはの県議会定例会で「知事状況が大きく変わってき肝煎りの取組であつていているのです。このようも、聖域なき断捨離とな中で、同アプリの今後、その役割を民間にバの在り方について、再検トントンタッチし、取組を終討すべき時期に来ているわらせることとしてはいのではないかと課題認識を保持していました。

2年前から議会で提言

そこで、令和5年6月の県議会定例会で黒岩知事に今後の在り方の検討について質問したところ、知事からは「ヘルスケア・ニューフロンティア政策におけるヘルスケアを踏まえ、マイME-BYOの答弁が

断捨離として見直しへ

幅広に検討していく」との答弁がありました。そして、私からは「ヘルスケアアプリの現状等を考え、(中略)民間に役割を移したほうが良いのではないか」と課題提起するとともに、「本当に県民の方々に届く施策というのは何なのかということを、ぜひとも一つひとつ見極めていただきたい」と提言しました。

議会で更なる質疑

さらに、令和6年11月



モットーは「まかせて安心!
いのちと生活を守る!鈴木ひでし」。
第109代神奈川県議会副議長、県監査委員、公明党県議団団長などを歴任。厚生常任委員会、社会・健康対策特別委員会
HP <http://www.hideshi-suzuki.com/>

と非常に意義のあることであると受け止めています。税金の在り方が議論される昨今、県民がその恩恵を受ける税金の使途と効果が問われています。県議会議員として、この視点を忘れることなく今後も県行政をしっかりと注視してまいります。